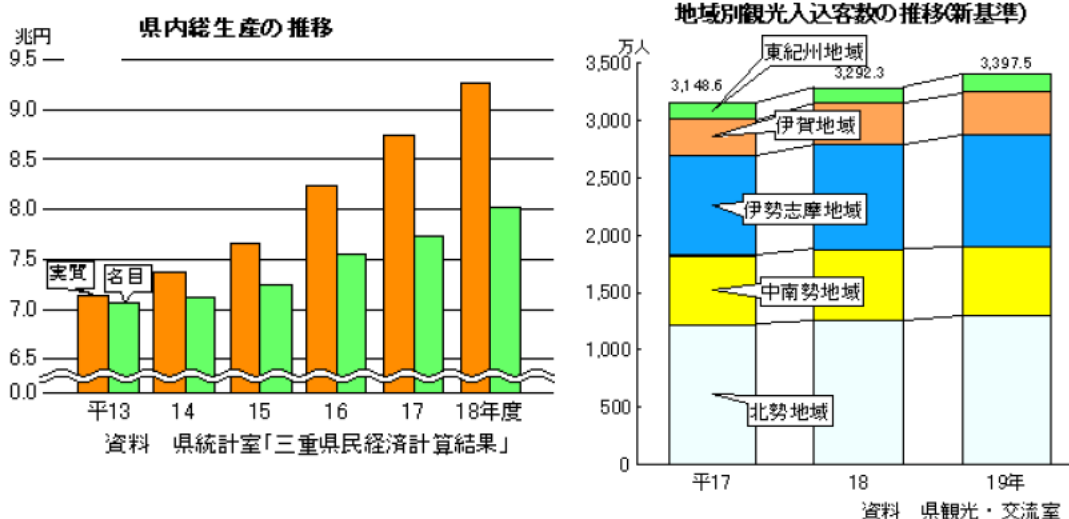


第1 三重県のプロフィール

1 位置と地勢

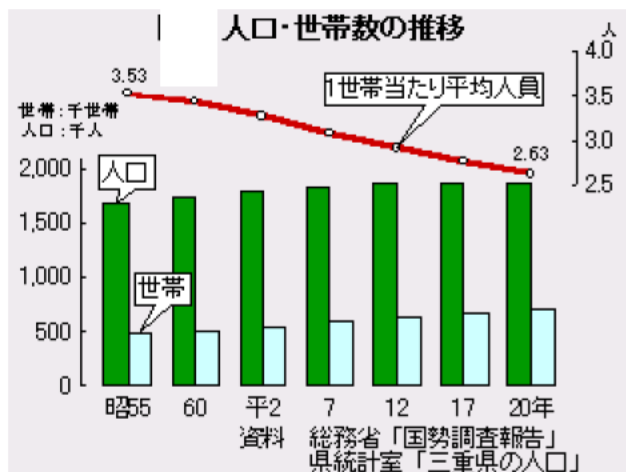
三重県は、日本列島のほぼ中央に位置し、東西約 80 km、南北約 170 kmの南北に細長い県土を持っています。

また、北部は商工業が盛んな地域である一方、南部は伊勢志摩国立公園や世界遺産熊野古道などの地域資源を有し、都市的機能と豊かな自然とのバランスがとれた地域となっています。



2 人口と面積

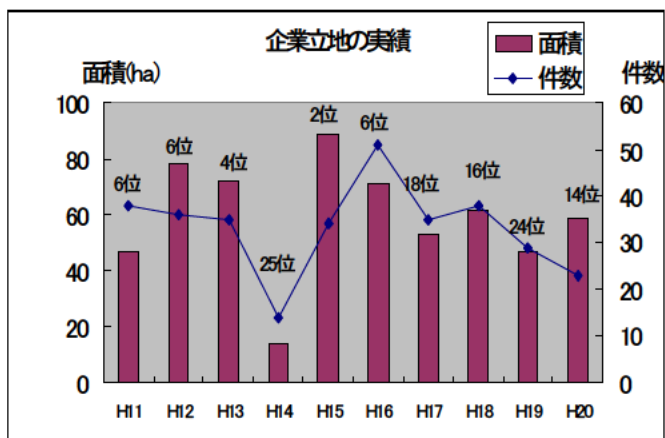
平成 20 年の推計人口は、約 187 万人で、都道府県別の全国順位は 22 番目の多さになっています。また、面積は 5,777.19 で、全国順位は 25 番目の広さになっています。



3 交通アクセス

三重県は、中部圏と近畿圏の両方に属していることもあり、鉄道のほか、東名阪自動車や伊勢自動車などの高速道路、幹線国道が充実し、二大都市圏へのアクセスが大変便利になっています。また、四日市港、中部国際空港など海外からのアクセスも充実しています。

例えば、津市から大阪市までは、自動車約 2 時間、鉄道約 1 時間 30 分、名古屋市までは、自動車約 1 時間、鉄道約 50 分となっています。



このようなアクセスの良さもあって、平成3年から平成19年までの間に、三重県内において取得された企業の工場用地（千m²以上）の面積は、14,350千m²となり、全国に占める割合は約4.4%（全国5位）となっています。

4 産業

三重県は、国内でも有数の石油化学コンビナートを有するとともに、半導体、液晶、自動車などの先端産業が発達しています。

こうした状況は統計面でも現れています。平成19年工業統計調査によると、平成19年12月31日現在の製造品出荷額等は11兆6,018億円で、全国9位の規模になっており、平成13年を基準とした5年間の伸び率では、40.1%の増で全国1位となっています。

また、農林水産業では、なばな、モロヘイヤ、茶などの生産量が全国的にも上位にあり、伊勢エビやカツオなどの漁獲量も多く、自然に恵まれた本県ならではの特性となっています。

なお、平成18年度の1人当たりの県民所得は、319万3千円で前年度より2.4%増加しており、全国6位と高い水準にあります。

